

野菜花き 5月下旬巡回調査結果の概要について

【東北信】 巡回日 5月22日、25日

1 トマト

小諸市の巡回ほ場（加工用・露地栽培）は生育初期であった。病害虫の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は収穫中であった。ほ場内で部分的うどんこ病の発生がみられた（図1）。病害虫の発生はみられなかった。



図1 トマトのうどんこ病（長野市）

2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は収穫期であった。アザミウマ類の寄生株率は5月上旬よりも増加し、平年と比べ多かった。また、アブラムシ類の寄生がみられた（図2）。

中野市のほ場（露地栽培）は生育初期であった。病害虫の発生はみられなかった。



図2 きゅうりに寄生するアブラムシ類（長野市）

3 いちご

南牧村の巡回ほ場は収穫始期であった。病害虫の発生はみられなかった。

4 キャベツ

小諸市及び軽井沢町の巡回ほ場は結球始期、南牧村及び長野市の巡回ほ場は生育期（8～9葉期）であった。軽井沢町の巡回ほ場でウワバ類の卵とチョウ目害虫の食害がわずかにみられ、長野市の巡回ほ場でヨトウガ、ウワバ類の卵が確認されたが（図3）、ほかの病害虫の発生はみられなかった。



図3 キャベツの葉に産付されたヨトウガ卵（左）とウワバ類の卵（右）（長野市）

5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場は生育期（7～8葉期）であった。ウワバ類の卵とチョウ目害虫の食害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は花蕾形成期であった。病害虫の発生はみられなかった。

6 はくさい

上田市の巡回ほ場は未定植であった。

小諸市及び小海町の巡回ほ場は収穫期、南牧村の巡回ほ場は結球期であった。小海町の巡回ほ場で尻腐病の発生がわずかにみられたほかは（図4）、病害虫の発生はみられなかった。



図4 はくさいの尻腐病（小海町）

7 レタス

小諸市の巡回ほ場は収穫終了、御代田町の巡回ほ場は結球期、上田市及び南牧村の巡回ほ場は結球始期であった。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は収穫中であった。病害虫の発生はみられなかった。

小布施町の巡回ほ場（雨除け栽培）は立茎中であった。アザミウマ類の寄生がわずかにみられ、平年と比べやや早い発生であった。病害の発生はみられなかった。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は収穫中であった。病害虫の発生はみられなかった。

9 たまねぎ

長野市の巡回ほ場は倒伏始期であった。アザミウマ類の寄生が多く、被害度も高かった(図5)。そのほか、ハモグリバエ類、ネギコガ(図6)の寄生がみられたが、少発生であった。

病害では、黒斑病がみられ、中程度の発生であった。



図5 たまねぎに寄生するアザミウマ類と加害痕(長野市)

10 ばれいしょ

小諸市の巡回ほ場は生育期であった。アブラムシ類の寄生がみられたが、ナミテントウ(図7)など土着天敵類の定着により低密度で抑制されていた。病害の発生はみられなかった。

11 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、生育期(草丈20cm程度)であった。アザミウマ類の寄生がわずかにみられたほかは病害虫の発生はみられなかった。



図6 たまねぎに寄生するネギコガの繭(長野市)



図7 アブラムシ類の土着天敵のナミテントウ(小諸市)

【中南信】 巡回日 5月19日、20日、22日、25日、26日

1 トマト

南箕輪村久保の巡回ほ場(施設・半促成栽培)は、収穫中であった。病害虫の発生はみられなかった。

松本市島立の巡回ほ場(施設・半促成栽培)は、収穫中であった。葉および果実に灰色かび病(少発生)の発生がみられた。

伊那市及び安曇野市の巡回ほ場(露地栽培)は、いずれも定植直後であった。病害虫の発生はみられなかった。

2 きゅうり

松本市島立の巡回ほ場(施設・半促成栽培)は、収穫中であった。以前から発生していたうどんこ病(多発生)は、さらに発生範囲、密度が拡大していた。虫害では、花および葉にアザミウマ類(少発生)、葉にアブラムシ類(少発生)の寄生がみられた。

高森町山吹の巡回ほ場(施設・半促成栽培)は、着果中(収穫直前)であった。花にアザミウマ類(少発生)の寄生がみられた。

3 すいか

飯島町および松本市の巡回ほ場は、つる引き作業中(トンネル被覆)であった。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

4 キャベツ

塩尻市洗馬の巡回ほ場は、結球期であった。葉にアザミウマ類(少発生)の寄生がみられたほか、ウワバ類(少発生)による食害もみられた(図8)。

朝日村古見の巡回ほ場は、結球期であった。病害虫の発生はみられなかった。

茅野市の巡回ほ場は、未定植であった。

5 ブロッコリー

伊那市の巡回ほ場は、生育期(6~7葉期)であった。病害虫の発生はみられなかった。

6 はくさい

朝日村の巡回ほ場は、収穫前であった。軟腐病(少発生)による株の腐敗がわずかにみられた(図9)。

木祖村の巡回ほ場は、生育期(5~6葉期)であった。病害虫の発生はみられなかった。



図8 キャベツのウワバ類(塩尻市)



図9 はくさい軟腐病(朝日村)

7 レタス

塩尻市洗馬の巡回ほ場は、結球期であった。外葉にすそ枯病（少発生）の発生がみられた。
朝日村古見の巡回ほ場は、結球期であった。外葉にすそ枯病（少発生）の発生がみられた。

8 セルリー

原村の巡回ほ場（露地栽培）は、生育期（トンネル被覆）病害虫の発生はみられなかった。
松本市の巡回ほ場（施設栽培）は、収穫期であった。病害虫の発生はみられなかった。

9 アスパラガス

豊丘村神稲および飯島町飯島の巡回ほ場（雨除け栽培）は、立茎中であった。それぞれ、払落しによりアザミウマ類（少発生）の寄生がみられた

松川村鼠穴の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎収穫期であった。病害虫の発生はみられなかった。

10 たまねぎ

安曇野市の巡回ほ場は、本葉8.0～9.0葉であった。葉に黒斑病（少発生）および白色疫病（中発生）の発生がみられた。また、アザミウマ類（多発生）およびネギハモグリバエ（中発生）の寄生がみられた。

11 ねぎ

南箕輪村の巡回ほ場は、本葉4.0～5.0葉であった。葉にアザミウマ類およびネギハモグリバエの寄生および吸汁痕（いずれも中発生）がみられた。

山形村の巡回ほ場は、未定植であった。

12 きく

富士見町の巡回ほ場は、未定植であった。